



2025 年 12 月 22 日

教育課

### 教育を語り合う会 2025「母校をつくろう」の開催について

2030（令和 12）年、真鶴町に小学校と中学校が一体となった新しい学校が誕生します。その実現に向け、2025（令和 7）年度は新校舎の設計デザイン案を具体化していく重要な年です。町では、これまで「教育を語り合う会」などで対話を重ね、「半島まるごと学校」という理念にたどりつきました。真鶴の自然や人とのつながりを学びのフィールドととらえ、まち全体で子どもを育む環境を描いています。

この理念を形にしていくため、参加者の皆さまと一緒に未来の学校について考え、意見を交わすワークショップ「教育を語り合う会 2025『母校をつくろう』」を開催します。

#### ■ 1 回目

2025 年 8 月 30 日（土）※終了

テーマ：「はじめまして、と設計案のご紹介」 86 名参加

#### ■ 2 回目

2025 年 9 月 28 日（日）※終了

テーマ：「学校×せとみちの可能性」 80 名参加

#### ■ 3 回目

2025 年 10 月 26 日（日）※終了

テーマ：「学校と地域のキョリ感について」 62 名参加

#### ■ 4 回目

2026 年 1 月 17 日（土）

9：30～12：00 真鶴町民センター 3 階・講堂

テーマ：「基本設計案、こんな感じになりました発表会」

お問い合わせ先

教育課長 清水 勇一 電話：0465-68-1131 内線 2213



教育を語り合う会2025

project VOCO

# 母校をつくろう

2025年度は学校建築チームと  
真鶴みらい設計図案を描こう!

2030年、小学校と中学校がひとつになり、  
真鶴のまちに新しい「母校」が生まれます。

そして、そんな未来に向かって、  
2025年度は、いよいよ、  
新校舎の「設計デザイン案」を  
具体化していく年です。

真鶴町ではこの数年間、  
「教育を語り合う会」にて、対話を重ねてきました。  
とりついた理念は、「学島まるごと学校」、  
真鶴の自然や人とのつながりを  
まるごと学びのフィールドにとらえ、  
校舎の中にとどまらない、  
まち全体で子どもたちを支える  
学びの環境を描いています。

たとえば、町のおじいちゃんやおばあちゃんが、  
子どもたちと体操したり、理科の実験に参加したり。  
たとえば、校舎には「青戸道」が通り、  
その道ばたには「さわれる花」や「実のなる木」が育っていたり。

真鶴で生まれ育ったあなたにとって、移り住んできたあなたにとって、  
小学校や中学校に通うあなたにとって、  
そして、これから真鶴で育っていく子どもたちにとって、  
「母校」とは、どんな存在になるといでしょうか。

まだカタチのない「母校」が、  
真鶴の瀬町でくりかえされてきた日常のまにに  
いつでも立ち寄れて、また歩き出せるような「母校」にもなる。  
学校と地域の新しいつながりを創造していく  
この取り組みに参加して、あなたの声を聞かせてみませんか?

「真鶴の青戸道」が新校舎のコンセプトに?

## 新しい学校のデザインを考える 全4回の対話型プログラム

参加費無料 予約不要 会場 真鶴町民センター3F 講堂

※1日 8/30 9:30~11:30  
※2日 9/28 9:30~12:00  
※3日 10/26 9:30~12:00  
※4日 1/17 2026 9:30~12:00

## 参加者募集

0歳からシニアまでどなたでも歓迎!

## プログラム

### はじめまして、と 設計家のご紹介

2025年7月、設計案が決定しました。  
これまでみなさんからいただいたご意見が、設計案によって  
どのようなプランになっているかをご紹介、お話しします。

### 学校×せとみちの可能性

学校の設計案の核は、外にのびる「青戸道」。  
みなさんの「やってみたいこと」と、  
真鶴の自然である「青戸道」を思い浮かべながら、  
図面制作にアイデアの翼を広げてみましょう。

### 学校と地域の キョリ感について

「地域に開かれた学校、地域とともにある学校」って理想的。  
でも、具体的にどこを、どう、共有するのでしょうか?  
をキョリ感の考え方も含め、意見を交わします。

### 設計家、こんな感じに なりました発表会

第1回~第3回までに話しあった内容をもとに、  
その間、設計チームが盛り上げた最新プランをお披露目します。  
同時に、2030年の真鶴に向かって、  
次なる企画と一緒に考えましょう。

進行役 内海慎一 (コミュニティデザイナー)  
地域のみんなが「自分の声を聞かせる」ときの大事な役割が、  
学校は校長、教員は先生です。

## こんな方におすすめ



全4回  
どの回からでも  
参加OK

予約なしでOK!

土日の朝、ふらっとのぞいてみませんか?  
少し先の未来が、ここから動き出すかも。

※本プログラムは最終的な設計案の方向性について話し合う場です。  
※参加費は無料です。会場は真鶴町民センター3F 講堂です。お申し込みは、お申し込みの日に開催される予定です。  
※本プログラムはオンラインでも開催したい方、参加者の声や意見が活かせるよう、事前にいただいた意見をもとに開催します。

project VOCO  
母校をつくろう

「まなづる小学校」と「真鶴中学校」の設計案を、子どもたちや地域にとってより良い  
ものとするべく、いよいよ対話型の取り組み、VOCOと「母校」のこと、真鶴の  
「青戸道」とのダブルミーニング、図面制作やコミュニティデザイナー、建築家デザイナーを  
中心に、2030年の真鶴までの数年間、子育て世代だけでなく、すべての世代が心を  
寄せ合う「母校づくり」を描いていこうとします。

お問い合わせ / 教育課 教育総務課 0465-68-1131

え!? 半島まるごと学校?